

ユニック車横転

下校途中の小3男児が下敷きとなり死亡

2015年4月17日(金)6時38分

16日午後4時半ごろ、大阪府の国道交差点で、大型ユニック車が中央分離帯に接触して横転、近くの小3年の男児(8)が下敷きになった。男児は頭を強く打つなどして搬送先の病院で死亡した。警察は、トラックを運転していた運転手の男性容疑者(45)を自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)容疑で現行犯逮捕、容疑を過失致死に切り替えて調べている。現場は信号機と横断歩道のある交差点。容疑者は「道路左側の歩道から子供が出てきた。急ブレーキをかけたが中央分離帯に衝突した」と供述しており、警察が信号の状況などを調べている。男児は学校から帰宅途中だった。

トラックは車体左側を底にして横転、男児を助けようと付近の住民が救出に加わった。近くで繊維業を営む男性(67)は「50人くらいで『頑張れ』と声をかけながら、トラックを持ち上げようとした。動かないので私がフォークリフトを運転して車体を浮かせ、その間に子供を助け出した」と話した。

「かもしれない運転」
横断歩行者・自転車 信号無視の可能性？

“二日酔い” 早朝取り締まり強化

飲酒運転・・・家庭崩壊・会社は倒産寸前

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

深夜まで酒を飲んでいて、午前、自転車の男性はねる
車にはねられ男性死亡、配管工の男逮捕

2015年4月17日(金)7時11分

16日午前、東京都で自転車に乗っていた男性(68)が、車にはねられ死亡し、警視庁は現場から逃走した、配管工の男性容疑者(40)を逮捕した。容疑者の呼気からは、アルコールが検知され、「深夜まで酒を飲んでいて。何かに当たったが、よく覚えていない」などと話している。

登校事故、遺族新たに提訴へ 「危険運転罪に該当」

2015年4月16日(木)8時21分

京都府で2012年4月、軽乗用車が集団登校中の児童らの列に突っ込み、10人が死傷した事故で、長女=当時(26)=を亡くした父親(51)ら遺族4人が近く、運転していた元少年(21)と保護者、同乗者、車の所有者計5人に対し、慰謝料など計3300万円の損害賠償を求めて京都地裁に提訴することが15日、分かった。

提出予定の訴状では、元少年は自動車運転過失致死傷罪などで有罪が確定したが、判決は「遺族の処罰感情や一般的な社会通念とかけ離れている」と指摘。事故現場で減速し、適切にハンドルを切れないなど基本的な運転技能がないために事故が起こったとし、元少年の罪は改正前の危険運転致死傷罪に該当すると主張している。

同乗者には、無免許だと知りながら元少年の運転を止めず、保護者には、元少年が過去に無免許運転で少年審判を受けていたにもかかわらず監督を怠ったとし、それぞれ責任があるとしている。また、所有者にも無免許の元少年に車を貸した責任を負うよう求める。

事故は12年4月23日午前8時ごろ発生した。元少年ら6人が逮捕され、起訴された3人のうち、2人が中等少年院送致、1人が保護観察処分となった。事故をめぐり、別の遺族も元少年らに対し、損害賠償を求めて提訴している。